

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139000
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会補助金		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
					(5)個人に対する補助金・負担金		
					(6)その他		
②支出の根拠	関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による						
	関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会						
③支出先	関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会						
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会会員及び市民				に対して	
	手段	生涯学習の相談活動及び各種講座の開催				を行うことで	
	受益者	関市生涯学習ボランティアアドバイザーの会会員及び市民				が(を)	
	意図	生涯学習活動の活性化と積極的な地域づくりを行う				という状態にする	
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 13 年度			
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()	
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1人 あたり 2,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	250	250	250	250	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="checkbox"/>	その他 ()
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	511 千円		H30歳出決算額	425 千円		翌年度繰越額	86 千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合		48.9 %		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	団体補助から事業委託への検討
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	事業は生涯学習課と共催で進める部分があり、分担等について検討する必要がある
	支出額・補助・負担率は適正か	見直す必要がある	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	新しい生涯学習の進め方を行うためには重要な役割を持つ組織であるので、育成を図らねばならない
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	生涯学習の停滞	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	今後の生涯学習の振興を図るためには重要な役割をもつ組織であるので、より育成を図らねばならない。生涯学習課との事業の進め方で、役割分担等を見直しながらより効率的な運営を図る必要がある。					

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139550
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	岐阜人権擁護委員協議会武儀部会		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)				
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)				
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金				
				<input type="radio"/>	(6)その他				
④国・県の負担	<input checked="" type="radio"/>	なし							
	<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>	国の負担あり	負担割合		負担額		千円
	<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>	県の負担あり	負担割合		負担額		千円
⑤支出の目的	対象	岐阜人権擁護委員協議会武儀部会						に対して	
	手段	研修、相談業務の補助						を行うことで	
	受益者	会員(人権擁護委員)						が(を)	
	意図	人権活動、人権相談等の活発な活動の展開と委員の資質向上						という状態にする	
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	50		年度			
⑦事務局体制	<input checked="" type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="radio"/>				その他()
⑧構成員の負担	<input checked="" type="radio"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1人	あたり	2,000	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	110	110	110	110	単価を定めている→算式	10,000円×委員数		
					定額補助・負担	その他()		
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	399 千円		H30歳出決算額	333 千円		翌年度繰越額	66 千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合			27.6 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成している	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大いにあり	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input checked="" type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/>	4 統合を検討	<input type="radio"/>	5 終期を設定	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	人権相談を市民にPRし、利用者を増やす。					

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139750
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市地域女性の会連合会補助金		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="radio"/>	(6)その他		
②支出の根拠	関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による						
	関市地域女性の会連合会						
③支出先	関市地域女性の会連合会						
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
	<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>	県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	地域女性の会会員		に対して			
	手段	研修・学習会、地域の福祉・文化事業、及び市主催事業への協力		を行うことで			
	受益者	地域女性の会会員及び市民		が(を)			
	意図	生涯学習活動の活性化と積極的な地域づくりを行う		という状態にする			
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 15 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課		<input type="radio"/>	主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1人あたり	200円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	600	600	600	600	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	その他 ()	
②過去における見直し状況	平成19年度から、それまで84万円の補助を60万円に減額している。							
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	1,616千円		H30歳出決算額	1,476千円		翌年度繰越額	140千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合			37.1%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	ある(県地域女性の会 40千円)	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	市の事業推進に関わって、女性の立場からの意見表明や協力体制が取られている。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	女性団体としての活動の停滞	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1現状のまま継続	<input type="radio"/>	2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/>	4統合を検討	<input type="radio"/>	5終期を設定	<input type="radio"/>	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	女性の立場から積極的に市の事業の進行に寄与するとともに、地域での活性化を図っている。今後も大切にしていきたい組織である。					

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139750
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市女性連絡協議会補助金		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金		
				<input type="radio"/>	(6)その他		
②支出の根拠	関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による						
	関市女性連絡協議会						
③支出先	関市女性連絡協議会						
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="radio"/>	国の負担あり	負担割合	負担額	千円
	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	女性連絡協議会会員				に対して	
	手段	研修活動や加盟団体相互の交流				を行うことで	
	受益者	女性連絡協議会会員				が(を)	
	意図	自らの資質向上と女性団体の活動の活性化を図る				という状態にする	
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 10 年度			
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="radio"/>	その他 ()	
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	加盟1団体あたり 1,500 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	95	95	95	95	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="radio"/>	その他 ()
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	210 千円		H30歳出決算額	207 千円		翌年度繰越額	3 千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合			45.2 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題	
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	女性自らが活動を行っている組織である。市の事業・行政運営に協力するとともに、女性の立場から意見提案をしている。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	女性団体活動の停滞	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/>	4 統合を検討	<input type="radio"/>	5 終期を設定	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	女性団体として自主的に活動し、成果を上げている。加盟団体が減少、また会員が高齢化固定化してきて、活動の広がりが難しくなっている。					

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139750
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	せきガイドグループ補助金		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金	
				<input type="radio"/>	(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	会員及び関市への来訪者			に対して	
	手段	市内名所・旧跡、歴史・文化、伝統産業等についての研修、ガイド活動			を行うことで	
	受益者	会員及び関市への来訪者			が(を)	
	意図	関市の文化・歴史等の理解を深めるとともに、その伝承に寄与する			という状態にする	
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成	7	年度
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1人	あたり	3,000円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	48	48	48	48	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	240千円	H30歳出決算額	232千円	翌年度繰越額	8千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合		20.0%	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	ある(せきしん地域振興協力基金100千円)	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	ほぼ把握している	収支決算報告以外に詳細な会計記録がなく、補助金概要調書が作成できないため、補助率の適正判断ができていない。
	支出額・補助・負担率は適正か	不明	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できていると思われる	
	交付先の事業成果は向上しているか	継続	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	関市ガイド活動の減少、研修講座等の機会減少	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1現状のまま継続	<input type="radio"/> 2補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4統合を検討	<input type="checkbox"/> 5終期を設定	<input type="checkbox"/> 6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	関市の文化・歴史等を紹介する貴重な組織であり、市民への歴史講座や市外からの来訪者へのガイド活動に協力している。活動が継続できるよう支援していきたいが、会計の詳細な記録が提出できない状態で、改善を求めたい。		

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139750
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	せきボランティアガイドの会補助金		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)				
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)				
					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
					(5)個人に対する補助金・負担金				
					(6)その他				
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし							
	<input type="radio"/>	なし							
⑤支出の目的	対象	会員及び市内児童、関市への来訪者						に対して	
	手段	市内名所・旧跡、歴史・文化、伝統産業等についての研修、ガイド活動						を行うことで	
	受益者	会員及び市内児童、関市への来訪者						が(を)	
	意図	関市の文化・歴史等の理解を深めるとともに、その伝承に寄与する						という状態にする	
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 19 年度					
⑦事務局体制	主に市の担当課		<input type="radio"/>	主に支出先団体		その他 ()			
⑧構成員の負担	負担なし		<input type="radio"/>	負担あり		負担額	1 人	あたり	3,000 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率					
	48	48	48	48	単価を定めている→算式					
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	その他 ()			
②過去における見直し状況										
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額		91 千円		H30歳出決算額		86 千円		翌年度繰越額	5 千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合				52.7 %		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	関市ガイド活動の減少、歴史学習の機会減少	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="radio"/>	4 統合を検討	<input type="radio"/>	5 終期を設定	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	関市の文化・歴史等を紹介する貴重な組織であり、市外からの来訪者へのガイド活動や市内児童への地域・歴史学習に協力している。活動が継続できるよう支援していきたい。					

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139780
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市少年補導員連絡協議会補助金		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)				
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)				
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金				
				<input type="radio"/>	(6)その他				
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額		千円
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額		千円
⑤支出の目的	対象	市内の少年						に対して	
	手段	補導や相談活動、補導員研修会の実施						を行うことで	
	受益者	市内の少年						が(を)	
	意図	非行・不良化を防止し、社会環境を浄化する						という状態にする	
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度		年度				
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="checkbox"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>	その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり 円			

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率					
	750	750	450	750	単価を定めている→算式					
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	その他 ()			
②過去における見直し状況										
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額		737 千円		H30歳出決算額		540 千円		翌年度繰越額	197 千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合				61.1 %		決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	経費の節減に努め、令和2年度以降の予算額を減額する。 少年補導活動については、各支部との情報交換を密にした活動を推進し、青少年の健全育成に努めていく。					

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139785
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	青少年健全育成協議会補助金		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
	②支出の根拠	関市社会教育団体等活動補助金交付要綱による		<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
	③支出先	関市青少年健全育成協議会		<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金	
	<input type="radio"/>	(6)その他				
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	関市青少年健全育成協議会			に対して	
	手段	各地区の協議会が相互に連絡協調し、青少年健全育成の諸活動			を行うことで	
	受益者	市内のすべての青少年			が(を)	
	意図	健全に育成され、有為な青少年として成長する			という状態にする	
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和 60 年度		
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()			
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	980	980	980	980	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	1,024 千円	H30歳出決算額	1,005 千円	翌年度繰越額	19 千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合		95.7 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	している
	支出額・補助・負担率は適正か	適正
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	達成に向けて継続中
	交付先の事業成果は向上しているか	している
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	あり

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139785
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市子ども会育成協議会補助金		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
					(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
					(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
					(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
					(5)個人に対する補助金・負担金	
					(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし			負担額	千円
	<input type="radio"/>	なし	国の負担あり	負担割合		千円
	<input type="radio"/>	なし			負担額	千円
⑤支出の目的	対象	子ども会会員(小中学生)、ジュニアリーダー及び地区単位子ども会			に対して	
	手段	子ども会組織の育成			を行うことで	
	受益者	子ども会会員(小中学生)、ジュニアリーダー及び地区単位子ども会			が(を)	
	意図	健全に育成される			という状態にする	
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	昭和	40	年度
⑦事務局体制	<input type="radio"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="radio"/>	その他 ()
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="radio"/>	負担あり	負担額	1人あたり 120円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率		
	1,212	1,212	1,212	1,212	単価を定めている→算式		
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="radio"/>
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	3,172千円	H30歳出決算額	2,467千円	翌年度繰越額	705千円	
	H30歳入に占める補助・負担金の割合		38.2%	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	単位子ども会、地域の子どもの会の育成を図る必要がある
	支出額・補助・負担率は適正か	見直す必要がある	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	概ね達成している	子どもの健全育成を図るためには重要な役割をもつ組織であるので、さらに組織の育成、充実を図る必要がある
	交付先の事業成果は向上しているか	向上しつつある	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	子ども会活動の停滞	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/>	1現状のまま継続	<input type="radio"/>	2補助・負担内容を見直す	<input type="radio"/>	3縮小・減額を検討
	<input type="radio"/>	4統合を検討	<input type="radio"/>	5終期を設定	<input type="radio"/>	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	子どもの健全育成を図るためには重要な役割をもつ組織である。しかし、子ども会育成会が組織化されていない地域があるので、全市的に組織の育成、充実を図る必要がある					

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	139780
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関スカウト育成会補助金		補助金の分類	<input type="radio"/>	(1)一般補助金(団体等への補助金など)				
				<input type="radio"/>	(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
				<input type="radio"/>	(3)一般負担金(団体等への負担金など)				
				<input type="radio"/>	(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
				<input type="radio"/>	(5)個人に対する補助金・負担金				
				<input type="radio"/>	(6)その他				
④国・県の負担	<input type="radio"/>	なし	<input type="checkbox"/>	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	市内ボーイスカウト団体					に対して		
	手段	団の行事や奉仕活動、指導者育成、組織拡張・普及活動への援助					を行うことで		
	受益者	スカウト活動の参加者(小学生～大学生)					が(を)		
	意図	健全な社会人として成長する機会を提供する					という状態にする		
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日～H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 7 年度					
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/>	主に市の担当課	<input type="radio"/>	主に支出先団体	<input type="checkbox"/>				その他 ()
⑧構成員の負担	<input type="radio"/>	負担なし	<input type="checkbox"/>	負担あり	負担額	あたり		円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率			
	70	70	70	70	単価を定めている→算式			
					<input type="radio"/>	定額補助・負担	<input type="checkbox"/>	その他 ()
②過去における見直し状況								
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	74 千円		H30歳出決算額	70 千円		翌年度繰越額	4 千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合			94.6 %	決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	ある程度向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	スカウト団体への影響は大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	1 現状のまま継続	<input type="radio"/>	2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/>	3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/>	4 統合を検討	<input type="checkbox"/>	5 終期を設定	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)						

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	141150
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	関市社会教育視聴覚協議会補助金		補助金の分類	<input checked="" type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)	
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)	
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
				(5)個人に対する補助金・負担金	
				(6)その他	
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合	負担額	千円
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	負担額	千円
⑤支出の目的	対象	会員及び市民			に対して
	手段	視聴覚教育振興のための事業の実施			を行うことで
	受益者	会員及び市民			が(を)
	意図	視聴覚資料・教材の制作及び普及・活用、視聴覚教育の発展に寄与する			という状態にする
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日		補助・負担開始年度	平成 10 年度	
⑦事務局体制	<input type="checkbox"/> 主に市の担当課	<input type="radio"/> 主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1人 あたり	2,000 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	143	143	143	143	単価を定めている→算式	
					<input type="radio"/> 定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	605 千円	H30歳出決算額	600 千円	翌年度繰越額	5 千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合		23.6 %	決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	ボランティアによる手作りの運営を行っており、これを継続したい。
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	市の視聴覚教育振興の為、会が果たす役割は大きい。
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	視聴覚教育振興への影響は大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助・負担内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	会員の高齢化が課題。若い会員を増やす必要性有		

平成30年度補助金・負担金調書

No. ※

担当課	生涯学習課	室・部・局	協働推進部	予算事業コード	141550
-----	-------	-------	-------	---------	--------

1 補助金・負担金の内容 【PLAN】

①補助金等の名称	読書推進実行委員会補助金		補助金の分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)一般負担金(団体等への負担金など)		
				(4)事業負担金(団体等事業に対する負担金など)		
				(5)個人に対する補助金・負担金		
				(6)その他		
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	市民				に対して
	手段	読書推進イベント				を行うことで
	受益者	市民				が(を)
	意図	読書に関する関心を高める				という状態にする
⑥期間	H 30 年 4 月 1 日 ~ H 31 年 3 月 31 日			補助・負担開始年度	26	年度
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり		負担額	あたり 円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助・負担金の額(千円)	H28決算	H29決算	H30決算	H31予算	補助・負担率を定めている→補助率	
	1,000	1,000	1,000	1,000	単価を定めている→算式	
					○定額補助・負担	その他 ()
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	H30歳入決算額	1,000 千円	H30歳出決算額	735 千円	翌年度繰越額	265 千円
	H30歳入に占める補助・負担金の割合			100.0 %	決算額を把握していない	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助・負担することが適当か	適当	
	類似の補助・負担金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助・負担率は適正か	適正	
③有効性	補助・負担の目的は達成できているか	ほぼ達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助・負担を休止・廃止した場合の影響は	事業内容による	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続		2 補助・負担内容を見直す	○ 3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討		5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・予算が必要なくできる事業もある。 ・市民活動団体等との協働型事業に移行を検討する。 			